

人文学部卒業研究

「Twitter」と「2ちゃんねる」 における炎上の相違

指導教授

尾鼻崇

印

提出年月日

2019年 3月 10日

学籍番号

HI15023

氏名

小宮海生

注意

本卒業研究は、著作権の関係上、複写およびPDF等によるデータの受け渡し等は許可しない。また、万が一それらに伴うトラブルが発生した場合も、執筆者と指導教員および中部大学は一切の責任を負わないものとする。

「Twitter」と「2ちゃんねる」における炎上の相違

HI15023 小宮 海生

要旨

本研究の目的は、「Twitter」と「2ちゃんねる」上で引き起こる炎上の仕方の違いについて明らかにしていくことである。

2018年「FIFA ワールドカップ」ロシア大会グループ H 予選最終戦の日本対ポーランド戦において、日本がポーランド相手に0-1で負けているのにも関わらず、後半残り10分頃からゴールを決めに行くような姿勢が全く感じられなかった。そして試合後Twitter、2ちゃんねるやその他SNSやブログにおいて、批判や擁護をする声が一気に投稿されたのである。その中でも著名人である野村周平は、「えー。なにこの試合」（「野村周平」『Twitter』アクセス年月日2018.12.08）と投稿し、日本代表の戦い方に対して批判的な内容のツイートを投稿した結果、インターネット上で炎上が発生している。また2ちゃんねるでも『実況しようぜ』≪日本対ポーランド≫サッカーW杯ロシア大会、ポーランドが先制点!★18において炎上が発生した。

「Twitter」、2ちゃんねるとも炎上したが、それらは同じ炎上でも、対象、広がる幅など違いがあるものだと考えられる。おそらく違いが生まれるのは「Twitter」と「2ちゃんねる」それぞれが持っている特性によるものだと考えられる。「Twitter」の持っている特性は、拡散能力が高いこと。つまりフォロワー以外にも情報がどんどん伝わっていくことが挙げられる。一方「2ちゃんねる」の特性は、リアルタイム性が高いことが挙げられる。リアルタイム性が高いということは、議題に対して投稿されるコメントが、その時投稿者が感じたことがそのままコメントとして投稿されることが多い。そこで本研究では、それぞれの特性に着目し、分析を行った。

分析を行った結果、「Twitter」と「2ちゃんねる」には、それぞれ相違点が見受けられた。それぞれ、どのような炎上の違いが発生したのかを、表を作成し、「+（肯定的）」、「-（否定的）」、「○（中立的）」の3種類にわけ分析を行い、どのような違いが生まれたのかを明らかにしていく。

キーワード

Twitter 2ちゃんねる 方向性 対象 炎上

目次

1章 炎上について.....	1
1-1 炎上とは.....	1
1-2 炎上のパターン.....	1
1-3 炎上が起きるまでのメカニズム.....	2
1-4 ネット炎上の定義と条件.....	3
1-5 炎上の参加者.....	4
2章 研究方法.....	5
2-1 分析方法.....	5
2-2 ツイート分析.....	6
2-3 2ちゃんねる分析.....	6
3章 「Twitter」と「2ちゃんねる」からみる炎上の相違点.....	7
3-1 コメント内容の違い.....	7
3-2 野村に対して投稿されたコメント.....	7
3-3 炎上参加者の考え方.....	8
3-4 匿名性によるコメントの違い.....	9
3-5 両者のコメント内容の違い.....	10
3-6 時間的要素が炎上に与える影響.....	10
3-7 炎上が広がる幅の違い.....	12
3-8 炎上の対象者.....	14
3-9 特性による炎上の違い.....	15
おわりに.....	18
参考文献.....	18
参考サイト.....	18